

東京芸術大学映像研究科 新港校舎がオープン

平成十八年四月、東京芸術大学は、映像研究科メディア映像専攻設置に伴い、横浜市みなとみらい21地区新港埠頭に新港校舎を開設し、横浜キャンパスを拡充した。

新港校舎は、横浜市が客船ターミナルを改装し、本学が借り受けたもので、鉄骨平屋建て延べ床面積約二五〇〇㎡、敷地面積は約六四〇〇㎡。メディア映像専攻の研究室やギャラリー、映画専攻の撮影スタジオなどがある。



交流

◆大学間国際交流協定締結

三月七日、東京芸術大学長と大邱大学校（韓国）総長は、芸術に関する交流及び教育研究協力を行うことに合意し、芸術国際交流協定を締結した。

調印式には、大邱大学校から李龍斗総長ほか八名、本学から宮田亮平学長ほか六名が参加した。

今回の調印により本学における交流協定締結校は十三カ国（地域）三十三大学等となった。



◆外国人留学生懇談会を開催

五月十八日、大学会館内学生食堂において、留学生と学長、副学長をはじめとする関係教職員、チューターとの交流と相互理解を深めることを目的とした懇談会を開催した。

◆上海市代表团が来学

六月十二日、上海市代表团一行（Mr. Gong Xuping上海市人民代表大會常務委員会主任ほか八名、在日中国大使館員二名）が本学を表敬訪問し、宮田学長、渡邊健二理事らと懇談した。懇談後、学長が秦楽堂など学内施設を案内した。

運営

◆卒業式で新たなパフォーマンス

三月二十四日、宮田学長になってから初めての卒業式が執り行われた。厳粛ななかにも華やかさが漂う例年どおりの式次が進み、学長式辞の段になると突然照明が消えた。場内がざわめいた後、スポットライトの先に大きな筆を持ち、作務衣を纏った学長が突如登場、特別に設けられた壇上へと上ると、一転大歓声に包まれる中、古代中国の金文に表れた「愛」という一文字を揮毫した。式辞では、金文の「愛」と今日の「旅立ち」が一致していると述べ、多くの卒業生から心に残る式であったとの感想が寄せられた。

<http://www.geidai.ac.jp/>（大学案内）学長挨拶／過去の学長挨拶／平成十七年度卒業式学長式辞

◆日本国際賞授賞式で学生オケが記念演奏

四月二十日、天皇皇后両陛下をお迎えし、千代田区の国立劇場で行われた「2006年日本国際賞」の授賞式で、本学の学生オーケストラ（指揮・小林研一郎教授、式典序曲指揮・三河正典講師）が式典演奏、記念演奏を行った。式典招待者入場時には、音楽学部邦楽科の演奏が行われた。式典の第一部では式典序曲が、第二部では受賞者の希望曲が演奏された。いずれも総勢百名程のオーケストラによる熱のこもった若さ溢れる演奏で、後日、皇后陛下からお褒めの

言葉をいただいたことが大学に伝えられた。

◆東京芸術大学ウェブサイトリニューアルオープン

本学では平成十七年度から、より使いやすく、より充実した情報の提供が可能なウェブサイトにヘリニューアルするための検討・製作作業を行い、六月一日オープンした。<http://www.geidai.ac.jp/>

◆ルーヴル美術館展開催

六月十七日から八月二十日まで、大学美術館において「ルーヴル美術館展—古代ギリシア芸術・神々の遺産—」が開催された。

ルーヴル美術館の所蔵する（古代ギリシア・エトルリア・ローマ美術）部門から古代ギリシア芸術に焦点を絞り、「アルルのヴィーナス」、「ボルゲーゼのアレス」などの大型彫刻作品を含む、一三四点もの古代ギリシア芸術で構成されるかつて例を見ない展覧会となった。

開幕前日の六月十六日、一般公開に先立ち、開会式・内覧会・レセプションが大学美術館にて開催された。開会式には、高田宮久子妃殿下のご臨席のほか、在日フランス大使館クリストフ・プノ公使、駐日ギリシャ大使館イオアニス・ヴァヴァス大使らを迎え執り行われた。

◆「藝大とあそぼう」子どもたちとの交流

七月二日、「藝大とあそぼう」〈マザー・グースVS桃太郎〉が秦楽堂において開催された。開かれた大学として、大学と子どもたちと

地域社会との連携を重視し、音楽芸術の新しく多様な形態を追求することが、新たに創設された音楽学部音楽環境創造科の教育研究目標とのこと。千住という江戸気質、下町人情が残る地域でのスタートは、日本の音楽文化にとって意義があり、かつ多くの関係者に注目されることになろう。さらに、音楽学部と美術学部の共同研究も千住キャンパスにてこれまで以上に活発になる感もあり、その辺も今後大いに期待したいところだ。

「教員は語る」のコーナーで、あのピタゴラスイッチで有名な佐藤雅彦先生（新任メディア映像教授）が、「～音が世界を支配する、音が世界観を決定すると思っています。～ですから僕が作る表現は全部音からつくります」と語っていたのもとても印象に残った。

藝大通信編集長
長濱雅彦

展覧会・演奏会の最新情報は、東京芸術大学ウェブサイト (<http://www.geidai.ac.jp>) をご覧ください。

展覧会についてのお問い合わせ
東京芸術大学大学美術館 Tel 050-5525-2200
NTTハローダイヤル Tel 050-5777-8600

演奏会についてのお問い合わせ
東京芸術大学大学音楽学部演奏企画室 Tel 050-5525-2300

演奏会チケットの取り扱い
東京芸術大学美術館ミュージアムショップ Tel 03-5685-1176
チケットぴあ Tel 0570-02-0990
東京文化会館チケットサービス Tel 03-5815-5452

藝大アートプラザのご案内
(株) 藝大BiOn (ピオン)
Tel. 050-5525-2102 Fax 050-5525-2486

五月には、昨春新設された映像研究科映画専攻の二年生がセットを組み、クレーンも使用しての撮影実習が行われた。



七月二十八日には、新港校舎開所式シンポジウムなどが、新港校舎スタジオにおいて執り行われた。宮田学長と中田横浜市長の挨拶ののち、引き続き、「映像創造都市と産官学連携」をテーマに、(パネラー) 杉山恒太郎 (株)

電通常務執行役員(映像研究科特別教授)、中田宏横浜市長、藤幡正樹映像研究科長、(モデレーター) 桂英史映像研究科助教によりシンポジウムが開催された。電通、横浜市、芸大それぞれの視点から今後の産官学連携プロジェクトの目指す方向性について意見交換が行われた。



なお、本学と(株)電通は、昨年(平成十七年)十二月、わが国の映像分野における高度な人材育成及び開発研究の一層の展開を図るため、産学共同の教育・研究プログラムの開発と運営についての連携・協力に関する協定を締結している。

の交流の場を持つことにより子どもたちに音楽文化への興味を高めるとともに、「藝大」を身近に感じてもらいたいとして、台東区教育委員会の協力を得て、二年前に「藝大とあそぼう」は始まった。〈ゆかいな動物園〉〈オーケストラの逆襲〉に続き、今回が三回目。今年も、唱歌、クラシックのほか邦楽の伴奏による「桃太郎」など視点を変え、工夫されたプログラムが組まれた。



◆森鷗外訳オペラ、
本学初のDVD化
平成十七年九月に開催した、森鷗外訳、グルック作曲のオペラ〈オルフェオとエウリディーチェ〉全三幕「オルフェウス」は、上演後、観客のみならず、関係各方面からも賞賛の声が寄せられた。当初、出演者等に配布する目的で制作したDVDを再構成し、教育研究成果を広く社会に普及することとし、出演者らの協力を得て、この度、大学から初めてのDVDを発売した。詳しくは、藝大アートプラザ(☎050-5525-2100)まで。

◆藝大フレンズ加入者状況
加入者数(平成十八年七月三十一日現在)
賛助フレンズ 個人一五八名
法人五団体

特別賛助フレンズ 個人一六名
法人一団体

◆今年度上半期に開催された主な展覧会、演奏会記録
大学美術館
ドイツ・表現主義の彫刻家・エルンスト・バルラハ展
会期 四月十二日～五月二十八日
入場者数 約三万七〇〇人

「芸大コレクション」展・大正・昭和前期の美術」展
会期 四月十二日～五月二十八日
入場者数 約二万四二〇〇人

奏楽堂
藝大21 和楽の美 邦楽総合アンサンブル「今昔物語」
開催日 五月十六日
入場者数七三九人

藝大21 時の響き ジャズ3藝大「宮間利之とニューハードVSM」
ント・ヴィーヴオ
開催日 七月十五日
入場者数九四五人